

特別講義 消化管のサイエンス (The Science of Alimentary Tract))					担当教員	
					名誉教授	竹内 孝治
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等		
人と文化	1年次 前期後期	講義	2単位	選択		

【概要】

胃、十二指腸、小腸など、消化管の働きに関して、様々な研究も含めて紹介し、さらに薬剤の副作用として生じる様々な消化管障害、ならびに治療薬について解りやすく説明する。

1. 総論：消化管の働きに関する様々な研究の紹介、および講義の全体的な概要
2. 消化管障害モデルの紹介(障害発生における攻撃因子と防禦因子の説明)
3. 攻撃因子 (1)：胃酸分泌の調節と酸分泌抑制薬
4. 攻撃因子 (2)：胃酸分泌の調節と酸分泌抑制薬
5. 防禦因子 (1)：プロスタグランジンによる粘膜保護
6. 防禦因子 (2)：一酸化窒素による粘膜保護
7. 防禦因子 (3)：カプサイシン感受性知覚神経を介する保護作用
8. 防禦因子 (4)：重炭酸イオン分泌の調節と分泌促進薬
9. 防禦因子 (5)：重炭酸イオン分泌の調節と分泌促進薬
10. 防禦因子 (6)：胃粘膜血流（粘膜保護における重要性）
11. 薬の副作用による消化管障害 (1)：非ステロイド系抗炎症薬
12. 薬の副作用による消化管障害 (2)：非ステロイド系抗炎症薬
13. 薬の副作用による消化管障害 (3)：骨粗鬆症薬と抗うつ薬
14. 薬の副作用による消化管障害 (4)：抗血栓薬による胃出血の増大
15. 抗潰瘍薬の紹介

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	なし		
参考書	なし		

【成績評価方法・基準】

レポート提出（100％）